

情 報 公 開 文 書

研究の名称	当院における膵神経内分泌腫瘍症例の術前組織診断正診率と治療成績の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究の概要	【研究対象者】 EUS-FNA、経皮的肝生検あるいは外科手術で膵神経内分泌腫瘍・癌と診断された症例を対象としています。 【研究の目的・意義】 膵神経内分泌腫瘍の診断は従来の画像診断に加え、超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）による組織学的な診断が広く用いられています。しかし、EUS-FNA による膵神経内分泌腫瘍の悪性度に関する診断能は、腫瘍の大きさにより正診率が異なることが知られています。また、本邦のガイドラインでは、非機能性膵内分泌腫瘍と診断された症例に対しては大きさや悪性度に依らず外科的切除が推奨されている一方で、欧米のガイドラインでは腫瘍径が小さい場合、経過観察の選択肢を提示しています。画像診断の進歩に伴い、小さな病変でも質的診断が可能になりつつありますが、当院での膵神経内分泌腫瘍に対する診断・治療成績を調査することで、更に精度の高い診断方法や適切な治療法を患者に提供できるような糸口を見出すことを目的としています。 【研究の方法】 本研究は 2018 年 6 月 1 日から観察期間（研究実施予定の 2026 年 3 月 31 日）に膵神経内分泌腫瘍と診断された症例を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対応表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータ（病理結果、治療方針、最終診断）はカルテ上に存在する検査画像やレポート、診療記録等を使用します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）

係者からの相談等への 対応窓口	を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail hkawa82@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第三内科 大学院医員 川中滉貴
----------------------------	---